

I 学 校 ・ 職 員 の 概 要

1 開校明治34年1月1日旧七師団私設教育所として開設、本年度で115年目

2 学級編成 (平成28年4月7日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	やまびこ (知的)	たんぽぽ (情緒)	なみよし (情緒)	合計
児童数 計	58	54	67	66	44	66	5	1	12	373
学級数	2	2	2	2	2	2	1	1	2	16

3 職 員

校 長 石 黒 雄 治 (平成28年4月1日着任)

職員数 36名

II 北 鎮 小 の 教 育

1 本校教育の課題

(1) 114年の歴史と伝統を引き継ぐ教育を推進する

本校は、校章が示すように「太陽のような情熱をもって、永遠にゆるぎない真理を求めること」を教育理念としている。

私たちは、開校以来の不変の教育理念を継承していく責務がある。

その中で、本校の教育目標を踏まえ、全教職員の共通理解によって具体像を明確化していく。

(2) 夢や希望をもって、たくましく生きる子どもを育成する

変化の激しいグローバル化の進む社会において、学校は、夢や希望をもって、たくましく生きる子どもを育てていくことが強く求められている。それは、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に集約される。「生きる力」の育成は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成である。

そのため、手立てを工夫して精力的に教育活動を展開していく。

(3) 地域や学校の特色(実態・課題)を踏まえた教育活動を工夫する

本校の校地内に子ども達が憩う北鎮の杜(公園)がある。また、近くには春光園や春光台公園があり、自然環境に恵まれた学校である。さらに、彫刻美術館や井上靖文学記念館等の文化施設にも恵まれている。これらの校地内外の豊かな教育環境を活用した教育活動を展開することにより、地域のよさに気付いたり、地域住民と交流を深めたり、地域に誇りをもてるようになることが期待される。

また、保護者や地域の方々は、教育に関心が高く、協力的である。家庭や地域との連携を深め、それぞれの教育力を活用した教育活動をより一層推進していく必要がある。

一方、本校は、保護者の職業上、全国・全道的規模で児童の転出入がある。そのため、学力水準の維持向上は重要な課題である。子ども一人一人の学習意欲を喚起し、様々な活動を通して確かな学力の育成を図ることが求められる。

2 本校の教育目標

よく考え 力いっぱいやりぬく子（知）

《価値項目》思考力 判断力 想像力 表現力 実践力 探究心 直観力 積極性 自主性等

仲良く助け合い 心豊かな子(情)

《価値項目》優しさ 思いやり 礼儀 節度 誠実 素直さ 豊かな情操 協調性 生命尊重
尊敬感謝 等

きまりを守り 責任を重んずる子（意）

《価値項目》責任感 根気強さ 自律心 公德心 公正 規則尊重 節度節制 勇気 等

身体をきたえ 生命を大切にする子（体）

《価値項目》意思力 自主性 意欲 継続力 健康安全 体力向上 生命尊重 誠実明朗 等

3 めざす子供の姿

よく考え 力いっぱいやりぬく子（知）

◎進んで学習する子

- 自分の思いや考えを自分なりに表現できる子
- しっかり聞き、考えを練りあえる子
- 正しく判断できる子

仲良く助け合い 心豊かな子(情)

◎場に応じた挨拶が進んでできる礼儀正しい子

- 素直で明るい子
- 友達と力を合わせ、助け合える子
- 思いやりのある子

きまりを守り 責任を重んずる子（意）

◎目的意識をもって、進んで取り組む子

- きまりや約束を守る子
- 責任をもってやり遂げる子
- 粘り強く、最後まで挑戦する子

身体をきたえ 生命を大切にする子（体）

◎運動に親しみ、進んで運動する子

- 強い意志をもち、身体を鍛える子
- 自他の安全に気をつけて活動する子
- 友達と協力し合って運動する子

4 本年度の重点目標

「思いやりのある子ども」

昨年度の学校評価(自己評価)で生徒指導の4項目すべてが前年を下回った。平均して0.5ポイントも低くなっている。また、保護者アンケートにおいても、『子ども同士のトラブルを何とかしてほしい』とか『数年前に比べて子どもたちの挨拶が良くない』、『人との関わりについてもっと指導してほしい』などの不満や要望が寄せられた。このような保護者の意見を真摯に受け止め、改善に努めなければならないと考えた。そこで、本年度の重点目標を『思いやりのある子ども』と設定した。

『思いやり』とは、「相手の気持ちになってみる」とか「相手の様子を気遣う」など、他との関わりの中で自分をどのように表現するか、ということが問われてくる。要するに、「自分がそう接してもらいたいと思うように人に接する」ことが基本的な表現になるのだと考えている。しかしながら、子どもも十人十色である。育てられた環境はそれぞれに違う。したがって、学年・学級などの全体指導だけで身に付けさせるのは非常に難しい。そこで、個人差を考慮した「少人数指導」や「個別指導」も適宜取り入れて、『思いやりのある子ども』の育成に全力を尽くしたいものである。

☆重点目標達成のための具体的な方策

1 気持ちのよいあいさつで、望ましい人間関係をつくる指導の充実

○朝の会や帰りの会、授業、集会活動等々、すべての教育活動の中で、気持ちのよいあいさつを身に付けさせる。

2 関わり合い、ともに支え合う学級風土を育む学級経営の充実

○授業を核とした学級経営に努め、一つの問題に対して、たくさんの子どもたちが関わり合い高め合って、支え合う楽しさを身に付けさせる。

3 子ども心の居場所が保障される教師の支援の徹底

○その子のよさを見つけ、その子の出番を学習場面や生活場面などで準備し、その子に自信を持たせる(自己有用感、自尊感情を高める)支援に徹する。

4 自分の言動を振り返る場の充実

○不愉快な思いにさせない相手や場に応じた適切な言葉遣いの指導の徹底を図るとともに、朝や帰りの会などで、自分の言動について振り返らせる場を設定する。

5 「思いやり・親切」の価値を最重点指導項目とする道徳の時間の充実

○全学級の最重点指導項目を「思いやり・親切」に統一し、「なぜ、思いやりが必要なのか」「思いやりとは何か」を読み物資料(『わたしたちの道徳』を中心に)を通して、じっくり考えさせ、子どもの内面に根ざした道徳的実践力の向上に努める。

5 学校経営の基本方針

学習指導要領は、各教科や領域における基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、児童一人一人の個性を生かし、自ら学び考えるなどの「生きる力」の育成をねらいとしている。

児童一人一人がもつ可能性を最大限発揮し、自己実現をめざして成長していけるよう教育活動の充実を図っていかねばならない。

「子ども一人一人を大切にせる教育」

◎創意に満ち活力のある学校

- 子どもにとって
「明日はまた、勇んで来たくくなるような素敵な学校」
- 教職員にとって
「この学校は働きがいがあり、幸せだと感じる学校」
- 保護者にとって
「この学校に通わせて本当によかったと思う学校」
- 地域の人々にとって
「子孫を育む、なくてはならない我らの学校」

6 本校教職員の信条

☆教育の成果は、教職員によって大きく左右される。本校に勤務する教職員として次の事項を信条として教育実践に当たりたい。

- 子どもの声の聞こえる教職員
- どの子も納得させる教育技術を身につけた教職員
- 常に研修し、自己変革を自ら求める教職員
- 問題解決に向けて、組織的(協働)に行動できる開かれた教職員
- 保護者や地域の人々との心のふれ合う教育を創造する教職員
- 愛情と信頼を基盤とする指導の充実に努める教職員

7 学校経営の重点と基本方策

(1) 「確かな学力の育成」と指導協力体制の確立

- 子ども一人一人の意欲や能力を高める授業の推進～授業改善
- 目的意識を高めた主体的な学習の推進～日常の学習活動、自主活動、家庭学習
- 体験的学習の積極的推進
 - ・教育課程の見直し
 - ・感動的な体験を通して感じ、考えたことを表現豊かに整理、記録し、交流し合い、ねり合い、考えを深める学習
 - ・習熟度別学習の計画と実践（教務部と研修部の連携、学力向上プロジェクトとの連携）
 - ・交換、交流授業等の積極的推進
- 職員間での「報 連 相 確」の徹底と協力体制の確立

(2) 重点目標達成を目指す共同研究と個人研修の推進

- 全学級の授業研究の推進
- 資質向上を目指す個人研修の推進
- 先進研究校との交流

○近隣の関係機関との連携促進

- ・上川教育局 旭川市教育委員会 めいほう幼稚園 附属小 北部地区小中学校 養護学校
春光中央市民員会 春光西市民委員会 井上靖文学記念館 彫刻美術館 等

(3) 生徒指導の機能を生かした指導の工夫

- 共感的な人間関係の醸成と子どものよさを生かす生徒指導の充実
- 基本的な生活習慣、態度や規範意識の醸成～挨拶、言葉遣い、廊下歩行 等
- 危機管理体制の確立～初期対応の充実、組織対応の工夫、保護者、地域の支援体制および集団下校体制の確立

(4) 校舎内外の教育環境の整備と効果的な活用

- 落ち着いた生活や学習を引き出す教育環境の整備と活用
- 心を育てる清掃活動の充実と指導の工夫
- 特別教室や多目的教室，教材教具の効果的な活用
- 掲示教育の推進（廊下，特別教室等の効果的な掲示）

(5) 指導と評価の一体化を図る学習評価の改善と指導の工夫

- 教職員の願いや創意を生かした評価の改善と指導の工夫
- 家庭，地域の意向を汲み取る評価の充実と公表の工夫
- 教科の評価基準を基にした指導に生きる評価の実施

(6) 保護者・地域の信頼を高める学校運営の工夫

- 地域の教育資源（学校支援協力者，施設，地域活動）の積極的活用と連携
- 説明責任を意識した情報発信～各種通信（学校便り，学年学級通信，保健便り，給食便り）
- 参観日の充実，保護者向け文書の工夫
- 学校評議員，同窓会，市民委員会等の感想，意見の集約と尊重
- P T A，地域行事等への積極的参加と連携の工夫

8 教科等の指導の重点

(1) 学習指導

- 自ら進んで学習する態度を育てる指導
 - ・基礎基本の定着と活用型学習の工夫
 - ・習熟度別学習の積極的推進
 - ・地域の教育資源の効果的な活用（自然，人材，施設）
 - ・個に応じた指導の推進
 - ・書く力，表現する力の育成（ノート指導，学習シート等，書いて伝え合う活動の工夫）
 - ・I C Tの効率的活用と図書の有効活用（思考や想像力を高める活用）

(2) 道徳教育

- 自分の心をみつめ，思いやりの心をもち生命の尊さや崇高なものに感動する心を育む指導
 - ・道徳の時間を要として道徳的価値の自覚を促す指導の充実
 - ・地域の教育資源や学校行事との関連を図った体験的活動の重視と道徳的实践力の育成
 - ・心に響く資料の工夫

(3) 特別活動

- 学校生活をよりよくする活動を通して，自主性や自立性を培い，思いやりの心を育む指導
 - ・活動のねらいを明確にした指導の充実
 - ・子どもの意欲や持ち味が生きる，やりがいを感じる活動の充実～児童会，学級会 縦割り集会

(4) 総合的な学習の時間

- 問題解決的な学習過程を基本とした指導の工夫
 - ・教科，領域との関連を図った指導計画
 - ・人との関わり重視～地域の教育資源の発掘と活用
 - ・子どもの育ちを把握する評価の工夫と改善
 - ・多様な活動の組み合わせと多面的な追求を促す活動（図書の有効活用）
 - ・教科 道徳 キャリア教育 食育等との関連を図った指導計画の充実

(5) 外国語活動

- 外国語に親しむ活動を通して，コミュニケーションの楽しさを実感できる指導の工夫
 - ・授業研究の推進
 - ・I T教材，英語ノートの効果的な活用
 - ・A L Tの有効活用

(6) 生徒指導

- 子どもの心の琴線に触れる指導を核として一人一人の願いや人格を尊重する指導
 - ・挨拶や言葉遣いをはじめとする基本的生活習慣の指導の充実
 - ・共感的な生徒指導～傾聴と温かな言葉かけ
 - ・保護者との信頼関係の確立
 - ・問題行動、いじめ等の早期発見～いじめの実態調査，教育相談の充実，事例交流と共通理解

(7) キャリア教育

- 自分に気付き，未来を築くキャリア教育
 - ・将来の自分に夢や希望を抱かせたり，家族や友達，地域の人々への関心や信頼感を高め，人々が責任を果たしながら様々な集団や社会を築いていることに気付かせたりする。
 - ・全体計画の推進と評価
 - ・将来の夢や希望を育む指導の充実

(8) 健康安全指導

- 運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育授業の研究と推進
- 進んで取り組む運動遊びや各種運動の奨励
- 生命を尊び，健康でたくましい心を育てる健康安全指導の充実
 - ・性に関する指導及び食育指導の充実
 - ・健康安全意識の高揚と実践

(9) 特別支援教育

- 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな手厚い指導
 - ・個別の支援計画，指導計画の作成と活用，適切な指導・評価
 - ・保護者との早期の連携協力による共通理解と適切な対応
 - ・交流学級との連携と指導の充実
 - ・関係機関との一層の連携

(10) その他の活動

- 読書活動の推進と図書室の有効活用
- ICT教育の着実な推進
- 各種団体の事業への参加奨励と啓発の工夫

9 学年経営の重点と具体策

「子どものよさが活かされ，心の居場所のある学年学級づくり」

(1) 重点目標の具現化を図る学年・学級経営

- ・重点目標を踏まえた創意ある学年学級経営案の作成
- ・年間指導計画表の作成と活用
- ・学年学級経営の定期的な評価，改善，充実
- ・よりよい学級の生活を創りだす係活動
- ・「朝の会，帰りの会」の工夫と充実
- ・歌，遊びの効果的な活用と日常化

(2) 教育相談の充実による個への支援

- ・個を鍛えるきめ細かな日常実践と記録の累積
- ・意図的，計画的な教育相談の推進
- ・道徳的実践力を育む指導の充実～いじめ防止運動の推進

(3) 夢をかき立て，心が和む教室環境

- ・整理整とん，清掃が行き届いた気持ちのよい教室
- ・子どもの夢や願いが表出した教室
- ・自主的な活動を促し，活動の場が保障された学級

- ・認め合い，支え合う人間関係の構築
- (4) 教師や保護者・地域に開かれた学級の推進
- ・きめ細かな家庭との連携（家庭学習や生活習慣）
 - ・学年学級PTA活動への支援
 - ・子どもの成長が垣間見える学年・学級通信の発行

10 学年の重点目標

よく考え 力いっぱいやりぬく子【知】

☆表現力，思考力，主体的行動力の向上

【低学年】

- しっかり聞き，はっきり発表できる
- 話している人を見て，聞くことができる
- 気づいたことや思ったことを，絵や文字で書くことができる
- みんなに聞こえるように，はっきり話すことができる
- 学習の準備や後始末ができる

【中学年】

- 自分の考えをもち，分かりやすく発表できる
- 考えを比べながらうなずいて聞くことができる
- 自分の考えを箇条書きで書くことができる
- 理由をつけて，わかりやすく話すことができる
- 課題解決の方法について話し合い，進んで学習することができる

【高学年】

- 自分の考えを深め，他と比べながら発表できる
 - 必要に応じてメモをとりながら聞くことができる
 - 自分の考えを工夫して書くことができる
 - 自分なりに工夫して，わかりやすく発表することができる
 - 課題解決の方法について話し合い，自分たちで学習を進めることができる
- 《しっかりと聞く態度》《考えや思いの表現》

仲良く助け合い 心豊かな子(情)

☆集団との関わりの中で自他を大切にすることの育成

【低学年】

- 明るい心で仲良く，助け合える
- 友達のよいところを見つけることができる
- 自分勝手なことをしないで友達のことを考えることができる
- 自然に親しみ，生き物に優しい心で接することができる

【中学年】

- 友達と力を合わせ，助け合える
- 友達のよさを生かし，協力して取り組むことができる
- 友達の気持ちをくんで行動する
- 進んで生き物の世話をし，自ら育てることができる

【高学年】

- 友達をよく知り、いたわり励ましあえる
 - よさを出し合って、よりよい活動を生み出すことができる
 - 互いに理解し、人の意見を受け入れるなど信頼を基盤に行動することができる
 - 環境を守り、大切に活動を進んで取り組む
- 《心のこもったあいさつ》《場に応じた言葉遣い》《進んで清掃》

きまりを守り 責任を重んずる子（意）

☆きまりを尊重し、自律心を高める

【低学年】

- よいと思うことは進んで行い、最後までがんばることができる
- 自分でやらなければならないことは、しっかりと行うことができる
- みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守って生活することができる

【中学年】

- 自分の目標を大切に、自分の考えで進んで行動することができる
- 自分の仕事をきちんと行い、後片付けまでしっかりとできる
- 学校や社会のきまりを守り、他の人に迷惑をかけないようにすることができる

【高学年】

- 自分の立てた目標や計画を、最後まで粘り強くやり通すことができる
 - 委員会や係の仕事などを自覚と責任をもって実行することができる
 - 公共物を大切に、みんなのために役立とうと努力することができる
- 《正しい廊下歩行》《名札の着用》《物を大事に》《時間を守る》
《特別教室、多目的室の正しい利用》

身体をきたえ 生命を大切にする子（体）

☆進んで体をきたえ、健康安全への実践力を高める

【低学年】

- 誰とでも仲よく遊び、運動することができる
- 生命の尊さ、大切さに気づくことができる
- 健康で安全な生活習慣を身につけることができる

【中学年】

- 楽しく元気に運動し、体をきたえることができる
- 生命のあるものを大切にすることができる
- 健康や安全に心がけて生活することができる

【高学年】

- 進んで運動し、体をきたえることができる
 - 自他の生命を大切にすることができる
 - 自ら進んで健康で安全な生活を実践することができる
- 《健康・安全の行動の日常化》《自らの健康に関心をもつ》